

# 平成 29 年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第 1 次）

## 教職に関する科目

（問 1 ～問 30 全 30 問）

時間 12：40～14：10

### 注 意 事 項

1. 試験監督者から「解答始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、表紙を除いて 15 ページあります。
3. 解答用紙（マークシート）の指定された欄に氏名、受験番号を記入し、科目名と受験番号の該当する〇を丁寧に塗りつぶしてください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄の該当する〇を丁寧に塗りつぶしてください。
5. この試験の解答時間は、「解答始め。」の合図があってから、90 分です。
6. 当該試験開始から終了までは、退室できません。ただし、発病等やむを得ない場合には挙手をし、試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子の余白は、下書きに使用しても差し支えありません。
8. 試験監督者から「解答やめ。」の合図があったら、直ちに解答をやめて鉛筆を置き、問題冊子を閉じてください。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問 1 「教育基本法」(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)第 2 条の教育の目標の条文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな人間性を培うとともに、健全な身体を養うこと。
- イ 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ウ 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- エ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

問 2 「学校教育法」(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号)の条文として正しいものはどれか、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 副校長は、校長を助け、校務を整理する。
- イ 教頭は、校長(副校長を置く小学校にあっては、校長及び副校長)を助け、校務をつかさどり、必要に応じ児童の教育をつかさどる。
- ウ 主幹教諭は、校長(副校長を置く小学校にあっては、校長及び副校長)及び教頭を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに児童の教育をつかさどる。
- エ 栄養教諭は、児童の食育の指導及び管理をつかさどる。

問 3 「小学校学習指導要領」（平成 27 年 3 月一部改正，文部科学省告示第 60 号）の「学級活動」の内容に含まれていないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 平素の学習活動の成果の発表と文化や芸術に親しむこと。
- イ 学級や学校における生活上の諸問題を解決すること。
- ウ 希望や目標をもって生きる態度を形成すること。
- エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣を形成すること。

問 4 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（平成 28 年 12 月 14 日法律第 105 号）第 3 条の，教育機会の確保等に関する施策の基本理念を規定した条文として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り，安心して教育を受けられるよう，学校における環境の確保が図られるようにすること。
- イ 不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ，個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること。
- ウ 不登校児童生徒が安心して教育を十分に受けられるよう，学校における環境の整備が図られるようにすること。
- エ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を十分に尊重しつつ，日本国籍を有する者に対して，その能力に応じた教育を受ける機会が確保されるようにするとともに，その者が，その教育を通じて，社会において自立的に生きる基礎を培い，豊かな人生を送ることができるよう，その教育水準の維持向上が図られるようにすること。

問 5 「学校教育法」(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号) 第 9 条の条文中の  ~  に当てはまる適切な語句を、それぞれ下の語群 1 ~ 8の中から選んだ組合せとして正しいものを、下の解答群ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 9 条 次の各号のいずれかに該当する者は、  となることができない。

- 一 成年被後見人又は
- 二  以上の刑に処せられた者
- 三 教育職員免許法第 10 条第 1 項第 2 号又は第 3 号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から  を経過しない者
- 四 教育職員免許法第 11 条第 1 項から第 3 項までの規定により免許状取上げの処分を受け、  を経過しない者
- 五 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

〔語 群〕

- 1 校長又は教員      2 教育公務員      3 禁治産者      4 被保佐人
- 5 懲 役              6 禁 錮              7 3 年              8 5 年

〔解答群〕

	A	B	C	D
ア	2	4	5	8
イ	2	3	6	7
ウ	1	4	6	7
エ	1	3	5	8

問 6 次のA群の教授・学習に関する用語と関係のある説明がB群に述べられている。A群のどれにも当てはまらないものを、下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

形式陶冶      形成的評価      問答法

〔B 群〕

- ア 学習は、児童・生徒の生活経験から興味や関心のあることを取り上げ、反省的思考により行われる。
- イ 学習を通して、観察力・思考力・記憶力・想像力等の身体的・精神的な能力や態度を育成する。
- ウ 学習者が、無知を自覚し、普遍的真理を探求することを助ける。
- エ 次の教授・学習活動が適切に行われるよう必要な修正部分を即座に把握するために、教授・学習過程の途上で行われる。

問 7 次のA群は、各時期の学習指導要領の特徴を述べたものである。これらの特徴について、歴史的に古い順に正しく配列されているものを、下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 「自由研究」が新設された。
- 2 小学校の高学年に「外国語科」が新設された。
- 3 「総合的な学習の時間」が新設された。
- 4 小・中学校に「特別な教科 道徳」が新設された。

〔B 群〕

- ア 2 → 4 → 1 → 3
- イ 3 → 1 → 2 → 4
- ウ 1 → 3 → 4 → 2
- エ 4 → 2 → 3 → 1

問 8 「中学校学習指導要領」(平成 27 年 3 月一部改正, 文部科学省告示第 61 号)の「総合的な学習の時間」の内容の取扱いとして当てはまらないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校図書館の活用, 他の学校との連携, 公民館, 図書館, 博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携, 地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。
- イ 問題の解決や探究活動の過程においては, 他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や, 言語により分析し, まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
- ウ 平素と異なる生活環境にあつて, 見聞を広め, 自然や文化などに親しむとともに, 集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。
- エ グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態, 地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となつて指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと。

問 9 文字文化の成立と展開に関する説明として誤っているものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 文明の成立の主なメルクマールは文字の発明であり, そこに読み書きの技法とその伝達という必要が生じた。
- イ 読書は古来, 黙読が中心であったが, 近代に入って音読の効用が見出され, それらが並存することになった。
- ウ 印刷術の登場と普及は, それまで手書きによって伝達された文字情報を, 不特定多数の人びとにもたらした。
- エ マルチメディア時代といわれる現代, 若者世代を中心に活字離れが進み, 学校教育にも影響を与えるようになった。

問10 教室の歴史的な展開に関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ヨーロッパで近代的な教室が登場した背景には産業革命があり、子供たちを次世代の労働力として育成しようという意図があった。
- イ 江戸時代の寺子屋では、個別学習を基本とするところと、教師による一斉教授を基本とするところが相半ばしていた。
- ウ 日本に近代的な教室がはじめて紹介・導入されたのは、イギリスから来日した外国人教師のダイアー (Dyer, H.) によってである。
- エ 教室で用いられる「起立・礼・着席」という号令は、文部省の通達により高度経済成長期に入って日本全国の学校に広まった。

問11 次の文章は、デューイ (Dewey, J.) による子供の世界についての説明である。文章中の  ~  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第一に子供は、大人に比べて  世界を生きている。その世界は、それぞれの個人的な興味・関心から構成されている。第二に子供は、  な世界を生きている。その世界は、移ろいやすく流動的だが、その全体が子供の生きる世界にほかならない。第三に子供は、  に満ちた世界を生きている。子供の生活世界から無縁なものは、いわば見えないし聞こえないのである。

(解答群)

- |   |      |       |           |
|---|------|-------|-----------|
| ア | ① 広い | ② 完結的 | ③ 社会への従属性 |
| イ | ① 狭い | ② 受動的 | ③ 社会への従属性 |
| ウ | ① 広い | ② 受動的 | ③ 他者との関係性 |
| エ | ① 狭い | ② 完結的 | ③ 他者との関係性 |

問12 次のA群は、日本教育史上の重要な出来事を述べたものである。これらの出来事について、歴史的に古い順に正しく配列されているものを、下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 学制に代わり、教育令が公布された。
- 2 天皇機関説事件が起き、教学刷新評議会が設置された。
- 3 教育勅語が發布され、教育と宗教をめぐる論争が起きた。
- 4 教育審議会の答申を受け、国民学校令が公布された。

〔B 群〕

- ア 1 → 3 → 2 → 4  
イ 1 → 3 → 4 → 2  
ウ 3 → 1 → 2 → 4  
エ 3 → 1 → 4 → 2

問13 次の文章は、近代の教育に大きな影響を与えた、ある人物の考え方を説明したものである。その人物を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教育という営みを構成している概念を体系化し、その全体像を示そうとした。教育の作用は管理、教授、訓練の3部門に分かれるが、管理は教授の準備を、訓練は教授の完成を目指すもので、その中心は教授である。教授は明瞭、連合、系統、方法の4段階をもつとした。

- ア カント (Kant, I.)  
イ コメニウス (Comenius, J. A.)  
ウ フレーベル (Fröbel, F.)  
エ ヘルバルト (Herbart, J. F.)



問14 次の文章は、中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」(平成27年12月21日)の一部である。文章中の ① ~ ④ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教職員総数に占める教員以外のスタッフの割合は、日本が約 ① %であるのに対して、米国が約44%、英国が約49%となっているなど、諸外国と比較した我が国の学校の教職員構造は、教員以外のスタッフの配置が少ない状況にあると考えられる。この調査結果から、我が国の教員は、多くの業務を担わざるを得ない状況になっていることがうかがえる。教員が子供と向き合う時間を十分に確保するため、教員に加えて、 ② 職員や、心理や ③ 等の専門家等が教育活動や学校運営に参画し、連携、分担して ④ を担う体制を整備することが重要である。

[解答群]

- |   |      |      |        |      |
|---|------|------|--------|------|
| ア | ① 28 | ② 用務 | ③ スポーツ | ④ 校務 |
| イ | ① 18 | ② 用務 | ③ 福祉   | ④ 実践 |
| ウ | ① 28 | ② 事務 | ③ スポーツ | ④ 実践 |
| エ | ① 18 | ② 事務 | ③ 福祉   | ④ 校務 |

問15 教育委員会が各学校に学校経営計画を作成させる場合があるが、学校経営計画について述べた一般的な内容として誤っているものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校経営計画は、学校の経営資源を有効に活用し、教育の質を向上することを目的としている。
- イ 学校経営計画は、校長がリーダーシップを発揮しながらも、外部のアイデアも取り入れつつ、プロジェクトチームを設置・活用するなど、創意工夫して策定する。
- ウ 学校経営計画は、学校の組織目標であり、教職員全員にとって重要な文書である。
- エ 学校経営計画は、教育活動の計画であるため、数値目標を設定できないことになっている。

問16 指導教諭について述べたものとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 指導教諭は、他の職員への職務命令を発することができる。
- イ 指導教諭は、任意設置の職である。
- ウ 指導教諭の任命権者は、校長である。
- エ 指導教諭は、教諭等の授業を観察しない方がよい。

問17 職員会議に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 職員会議は、校長の職務の円滑な執行に資するために置かれる。
- イ 職員会議は、校長が主宰する。
- ウ 職員会議は、学校の最高意思決定機関である。
- エ 職員会議の設置は、学校設置者が判断する。

問18 次の文章は、ある人物について述べたものである。当てはまる人物を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

フランスに生まれた社会学者。パリ高等師範学校を卒業し、ボルドー大学、ソルボンヌ大学に勤めた。社会学の確立に貢献し、自殺、道徳、宗教、教育等に関する研究を進めた。個人主義的功利主義を批判し、社会的事実に注目し、教育を「先行世代が後続世代にたいして行う系統的な社会化」と定義した。主著に、『教育と社会学』『フランス教育思想史』『道徳教育論』がある。

- ア デュルケーム (Durkheim, É.)
- イ ニーチェ (Nietzsche, F. W.)
- ウ ヘーゲル (Hegel, G. W. F.)
- エ ハーバーマス (Habermas, J.)

問19 「生徒指導提要」(平成22年3月)におけるいじめに関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア いじめが生じた場合には、いじめられている児童生徒に非はないという認識に立ち、組織的対応によって問題の解決を図ります。
- イ いじめはどの子どもにも、どの学校においても起こりえるものであること、また、誰もが被害者にも加害者にもなり得るものであることを十分に認識しておく必要があります。
- ウ 文部科学省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の定義は、平成18年に「自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」と変更されました。
- エ いじめは、いじめる側といじめられる側という二者関係だけで成立しているのではなく、「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在によって成り立つのです。

問20 次の文章は、思春期の特徴について述べたものである。文章中の ① ～ ④ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

小学校高学年から中学校の時期に多くの児童生徒は、身体的な成長が著しく、身長や体重が増加します。これは ① と名付けられています。認知発達は ② に移行し、仮説演繹的思考、組み合わせ思考ができるようになります。

また、自我同一性の芽生えの時期です。マーシャ (Marcia, J. E.) は、「 ③ 」と「傾倒」に注目し、自我同一性を「達成」「モラトリアム」「早期完了」「拡散」の4つに分類しました。

さらに、攻撃的行動などが顕在化し、 ④ がみられるようになります。非行につながるように、友人関係や親子関係、行動のコントロールなどに配慮する必要があります。

[解答群]

- |   |           |          |       |         |
|---|-----------|----------|-------|---------|
| ア | ① 思春期スパート | ② 形式的操作期 | ③ 学 習 | ④ 内在化行動 |
| イ | ① 思春期スパート | ② 形式的操作期 | ③ 危 機 | ④ 外在化行動 |
| ウ | ① 成熟前傾    | ② 具体的操作期 | ③ 学 習 | ④ 外在化行動 |
| エ | ① 成熟前傾    | ② 具体的操作期 | ③ 危 機 | ④ 内在化行動 |

問21 人間の欲求や動機に焦点をあてた人格理論を提唱したマズロー (Maslow, A. H.) は、欲求を階層的にとらえている。より低次から高次の順に正しく並べたものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生理的欲求→安全欲求→所属と愛情欲求→自尊欲求→自己実現欲求
- イ 生理的欲求→所属と愛情欲求→自尊欲求→安全欲求→自己実現欲求
- ウ 安全欲求→生理的欲求→自己実現欲求→所属と愛情欲求→自尊欲求
- エ 安全欲求→生理的欲求→所属と愛情欲求→自尊欲求→自己実現欲求

問22 次のA群の愛着についての記述について、適切な内容を○、不適切な内容を×とするとき、適切な組合せを、下のB群ア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 愛着行動とは、乳児が養育者に顔や視線を向けたり、感情を表出すること、あと追いやしがみつくことなど、近接関係を維持・回復しようとする行動である。
- 2 愛着の個人差を測定する方法としては、ボウルビイ (Bowlby, J.) らが開発したストレンジ・シチュエーション法が用いられる。
- 3 愛着の発達には、安心感を物理的接近関係の維持に頼らなくとも、イメージや主観的確信を通して得られるようになることである。
- 4 回避型の子供は、愛着対象から安心感を得るという点で組織化された方略をもっていない。

〔B 群〕

- |   |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | 1 — × | 2 — × | 3 — ○ | 4 — ○ |
| イ | 1 — ○ | 2 — ○ | 3 — × | 4 — × |
| ウ | 1 — ○ | 2 — × | 3 — ○ | 4 — × |
| エ | 1 — × | 2 — ○ | 3 — ○ | 4 — × |

問23 次のA群は、アッシュ（Asch, S. E.）が提唱した印象形成過程についての説明文である。適切な内容を○，不適切な内容を×とすると、適切な組合せを、下のB群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 中心的特性とは、人物の全体的印象に大きな影響を及ぼす特性である。
- 2 周辺的特性とは、全体的印象を一定の方向に決定するように作用する働きを持つ特性である。
- 3 人物に関する情報が与えられる順番が異なっても、全体的印象が影響を受けることはない。
- 4 ごく少ない手がかりしかないときには、その人物についての印象は形成されない。

〔B 群〕

ア	1 — ×	2 — ×	3 — ○	4 — ×
イ	1 — ○	2 — ○	3 — ×	4 — ×
ウ	1 — ×	2 — ○	3 — ○	4 — ○
エ	1 — ○	2 — ×	3 — ×	4 — ×

問24 次の文章は、態度変容を説明する理論について述べたものである。この理論を提唱した人物を下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

自分（P）と態度対象（X）、他者（O）の関係について理論化した均衡理論（balance theory）を提唱した。この理論では、心情的に「好き」である場合を+、「嫌い」である場合を-として表すが、3者の関係（PとO、PとX、XとO）の積が-のときには、Pにとって不快な状態であるとされる。

- ア ハイダー（Heider, F.）  
イ マクガイア（McGuire, W. J.）  
ウ タジフェル（Tajfel, H.）  
エ ベム（Bem, D. J.）

問25 パーソナルスペースおよび対人距離に関する説明文として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分を防衛するための領域であり、他者に侵入されると不快感が発生する。
- イ ホール（Hall, E. T.）によれば、対人距離は大きく4つに分類される。
- ウ パーソナルスペースの大きさは、性格や育った文化などにかかわらず一定である。
- エ 他者から侵入された場合、自分から身を引くことで、再び自分にとって適切な距離を確保しようとする場合がある。

問26 次のA群には人物が、B群には知能に関する理論が示されている。人物とその人物が提唱した理論の組合せとして適切なものを○、不適切なものを×とするとき、適切な組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- 1 キャロル（Carroll, J. B.） …………… 知能の3層理論
- 2 スピアマン（Spearman, C. E.） …… 知能の一般因子と特殊因子
- 3 サーストン（Thurstone, L. L.） …… 知能の3次元構造モデル
- 4 ギルフォード（Guilford, J. P.） …… 知能の神経心理学モデル

[解答群]

- |   |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | 1 — ○ | 2 — × | 3 — × | 4 — ○ |
| イ | 1 — ○ | 2 — ○ | 3 — × | 4 — × |
| ウ | 1 — × | 2 — ○ | 3 — ○ | 4 — ○ |
| エ | 1 — ○ | 2 — × | 3 — ○ | 4 — × |

問27 あるクラスの算数のテストの得点（100点満点）に関するA群の説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、適切な組合せを、下のB群のア～エの中から一つ選んでその記号で答えなさい。

[A 群]

- 1 個々の生徒の得点からこのクラスの平均値を引いた得点の平均は、0となる。
- 2 最高点が98点で、最低点が18点であったので、範囲（レンジ）は80点である。
- 3 前回のテストよりも今回のテストの得点の標準偏差が大きくなったので、全生徒の算数の能力は向上したと言える。
- 4 中央値が50点であったので、クラスの半分の生徒は、50点以上は得点できたと言える。

[B 群]

- |   |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | 1 — × | 2 — ○ | 3 — × | 4 — × |
| イ | 1 — ○ | 2 — × | 3 — ○ | 4 — × |
| ウ | 1 — × | 2 — × | 3 — ○ | 4 — ○ |
| エ | 1 — ○ | 2 — ○ | 3 — × | 4 — ○ |

問28 次のA群には学習に関する用語が、B群にはその用語に関する現象が示されている。次のア～エの組合せのうち、適切でないものを一つ選んで記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- |   |            |  |
|---|------------|--|
| ア | 反応般化 …………… | 特定の生徒の特定の行動に対してだけ罰を与えた場合であっても、その生徒の行動が全般的に抑制されること。             |
| イ | 罰の行動対比 ……  | 子供に自宅でのテレビゲームを禁止することで、友人宅で頻繁にテレビゲームをするようになること。                 |
| ウ | シェイピング ……  | 生徒に、他の子供が標的行動を行いそれによって強化されている場面（代理強化）を観察させることによってその行動が形成されること。 |
| エ | 負の強化 …………… | けたたましい音の目覚まし時計を毎朝止めるようになること。                                   |

問29 次の文中の  に当てはまるものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

いくつかの単語を一つずつ提示し、覚えさせ、その後提示された単語を思い出させる自由再生テストを実施すると、初頭効果と新近効果が観察される。この特徴は  と呼ばれる。

- ア 精緻化効果
- イ 系列位置効果
- ウ プライミング効果
- エ 孤立効果

問30 次の文中の  に当てはまるものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「カブトムシ」という単語について、「これは植物ですか？」という意味に関する質問をした場合と、「これはひらがなですか？」という形態に関する質問をした場合と、「これは「と」で始まりますか？」という音韻に関する質問をした場合に、後から、どんな単語があったのかと聞かれると、一番よく記憶されているのは、意味に関する質問がされた場合であり、この現象は記憶痕跡に関して、 の重要性を示すものである。

- ア 干渉
- イ 処理水準
- ウ 転移
- エ 抑制水準